様式第２号（第３条関係）

審 議 会 会 議 録

会議名称	令和７年度　第２回伊達市国民健康保険運営協議会		
議　　題	○議　事 報告第１号　　令和６年度伊達市国民健康保険特別会計決算について 情報提供①　　令和６年度伊達市後期高齢者医療特別会計決算について 情報提供②　　子ども・子育て支援金制度について		
開催日時	令和７年12月５日（金）　午後６時30分～午後６時55分		
場　　所	伊達市保健センター１階　集団検診室		
出 席 者	伊達市国民健康保険運営協議会委員７名（欠席者２名）		
	所管部課名	健康福祉部保険医療課	
公開非公開の別	■　公　開	傍聴者の人数	なし
	□　非公開	非公開の理由	

１　開会

２　健康福祉部長挨拶

佐々木健康福祉部長より挨拶

３　会長あいさつ

廣中会長より挨拶

（議長の選出等）

本会議の議長に廣中会長、会議録署名人として廣中会長・成沢委員を選出。

事務局より、伊達市国民健康保険運営協議会規則第４条第２項の規定により、会議成立の旨を報告。

４　議事

報告第１号　令和６年度伊達市国民健康保険特別会計決算について

事務局　別添レジュメにより説明

委員　歳出において、諸支出金が令和６年度は大きく減少している。年度によって金額が異なるが、なぜか。

事務局　保険税の過誤納による還付金や、実績に基づく交付金等の返還金を計上する項目のため、金額を定めることができず、年度によって大きく異なるものである。

委員　予算は実績に応じて決まるのか。

事務局　項目にもよるが、概ね実績や見込に基づいて予算計上している。

委員　基金から繰り入れているのに繰越金が出るのはなぜか。不足分を同額計上することにはならないのか。

事務局　基金の繰入については３月末の実績見込で行うため、出納整理期間を経て５月末に実績が確定した際に差額が発生してしまったものである。そのため、繰越金を計上しているものの、内容としては赤字決算となる。

委員　前年度も赤字決算だったのか。

事務局　令和５年度に関しては、前年度繰越金を積み立てすぎたために基金から繰入をしたが、実情としては黒字決算となった。赤字決算となったのは平成 30 年の国民健康保険制度改革以降、初めてとなる。

委員　令和７年度の見込みについてはいかがか。

事務局　歳出のうち、区分２の保険給付費については北海道からの交付金が同額交付されるため、一番大きいのは区分３の国保事業費納付金である。こちらは北海道から指定された額を支払うものであるが、令和７年度納付金については減額見込みであることから、令和６年度ほどは赤字とならない見込みである。

情報提供①　令和６年度伊達市後期高齢者医療特別会計決算について

情報提供②　子ども・子育て支援金制度について

事務局　別添レジュメにより説明

質疑等なし。

５　閉会